

「行雲流水」

小河俊紀

昨年（2021年）末に、かなり収束気配だった新型コロナウイルス禍が、年明けからオミクロン株に置き換わり、本日（2022年1月27日）現在、すさまじい勢いで感染拡大しています。猛毒性が薄いとは言え、不気味な怖さに違いはありません。運動不足解消のため、そういう中で、ストレスと運動不足解消のため、継続的な散歩は欠かせません。OB会の皆様も（多分）そうでしょう。



●面白い雲

上の写真は、昨年11月10日の午後、春日部の田んぼ道を散歩中に見かけた巨大な鳥形状の雲です。ちやんで有名。な春日部市は東京都市通勤





者が多く、かなり都会的な街ではありませんが東西に横断する国道16号線を境に、北側は長閑な田園風景が広がり、散歩にはうってつけのコースです。

● 飛行機雲

明けて、今年2022年1月15日午前、今度は最寄りの東武野田線南桜井駅付近で、別の面白い雲を見かけました（左上写真）。

ジグザグ模様の雲です。飛行機の航跡が作り出す飛行機雲のようです。自衛隊の訓練飛行があったのでしょうか？ ネットで検索すると

飛行機雲はよく飛ぶと、錯綜する



ようです。（引用写真：BEIZ images）

しかし、その二か月前に巨大な鳥雲を目撃した私には、鳳凰（ほうおう）が大空を飛びまわった跡のようでした。

● 散歩の効用

然に空を見上げることが多くなり、そのためか、雲の様々な姿に連想力が膨らむようです。私のような無粋な人間で



雲

高村光太郎

あの雲を見たまへ。
地面からたつ水蒸気の冷えてできた
小さな、小さな水玉の集團があの雲だ。
大空のみそこからあそこまで、
なんといふ大きなかたまりだらう。
なんといふりつばさだらう。
見てゐるうちに形をかへて
ぐんぐんと進んでゆく。
太陽に色どられた空中のパレット、

光とかけとの運動會。
雲には雲の規律があり、
山にかかる形や位置まで
ちやんと天氣の豫報をする。
小さな、小さな水玉が
あんな大きな力を出す。
あの雲を見たまへ。
雲はいいなあ。
おもしろいなあ。

を 田村孝之介

「週刊少国民」に掲載された光太郎の「雲」

も、しばし詩人になります。
かの有名な詩人高村光太郎は、雲について、
詩を残しました。（引用写真… Iwanichi Online）

● 行雲流水

11世紀後半の中国北宋で活躍した詩人蘇軾（そしよく）は、『謝民師推官与書（しやんみんしすいかんに与うるの書）』の中で、文を成す極意として「行雲流水」と例えました。文章には始めから決められた形はなく、自然の成り行きにまかせ、心の思うままに筆を走らせていくことで、良い文章が生まれる。自然で、ありのままの状態や、執着心や先入観を持たない効用を示す諺のようです。

（参照先… 小学館公式サイト「Domani」）

アナ雪風に言えば、
「ありのままです」と
いうことでしょうか。



とても深く、とても実践が難しい。（了）